# では新たな生活の準備が始まっています。

る団体も奮闘している。でも実際問題、予算が足りない。
取り戻すために、募金で応援してみては。

## 策研究所（ISEP）
## くもりプロジェクト」

再建。
たライ
多いそ
太陽光
「薪か
月から
仮設住
ていた
避難所
れ1台
ネルギ
に応え
。

［活動拠点］
福島県、岩手県、宮城県
［振込先］
三菱東京UFJ銀行 中野駅前支店（店番：552）
口座番号：普通預金口座 0114940
口座名：トクヒ）カンキョウエネルギーセイサクケンキュウジョギエンキンコウザ
（特定非営利活動法人　環境エネルギー政策研究所義援金口座）
ゆうちょ銀行
口座番号：00140—8—274983
口座名：カンキョウエネルギーセイサクケンキュウジョギエンキンコウザ
※システムの関係上、「トクヒ）カンキョウエネルギーセイサクケンキュウジョ」と表示されるが、本プロジェクトへの寄付として入金される。※一口1000円〜
［問い合わせ先］
http://tsunagari-nukumori.jp/

介薪かまど・ボイラー車で沸かしたお風呂ではしゃぐ子供たち。設置は地元の業者が行っている。

## ラジオを通した支援

ら
放送。
ら30km
急時避難
と、「特
現在、検
した災
3回、
兄、行方
「PCやス
どこでも
する災
険がある

［活動拠点］
福島県南相馬市
［振込先］
三菱東京UFJ銀行　上野中央支店
口座番号：普通預金口座 1675420
口座名：トクヒ）ニホンコクサイボランティアセンター
（特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター）
ゆうちょ銀行
口座番号：00190—9—27495
口座名：ジェイヴイシートウキョウジムショ
（JVC東京事務所）
※通信欄に「東日本大震災」と記入すること。
オンライン募金
https://www.ngo-jvc.net/oldform/form_creditbokin31.html　※一口1000円〜
［問い合わせ先］
http://www.ngo-jvc.net/j/projects/touhoku/

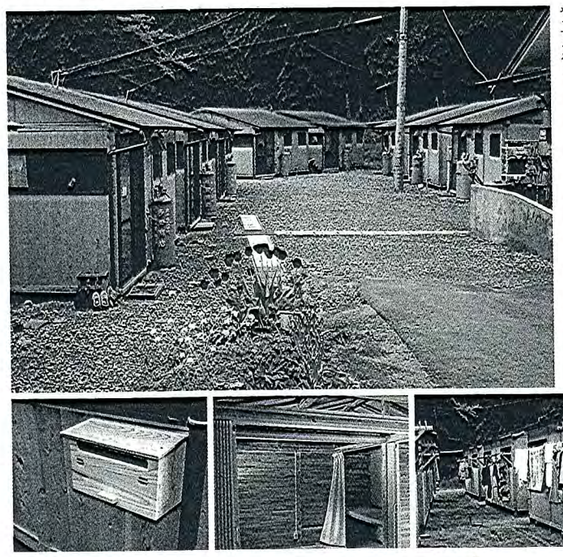
介DJをはじめスタッフ全員が地元のボランティア。避難区域に近い不安な状況でも、街を盛り立てようと力を合わせて活動している。

## 一般社団法人 more trees
## LIFE311

### 気仙大工による地元のための木造仮設住宅。

森林保全活動を支援する「more trees」のプロジェクト「LIFE311」が、陸前高田市と大船渡市に隣接する住田町とタッグを組んだ。「森林・林業日本一」をうたう住田町は、親交の深い両市の惨状を他人事ではないと、住田産の木と地元の大工で木造仮設住宅を建設。6月21日現在で93棟が完成しているが、建設費用3億円は民間から広く寄付を募っている。

［寄付先］
岩手県住田町
［振込先］
三菱東京UFJ銀行 表参道支店
口座番号：普通預金口座 0310576
口座名：イツバンシヤダンホウジン モア トウリーズ ヒサイチシエンプロジエクト
（一般社団法人more trees 被災地支援プロジェクト）
［オンライン寄付］
http://life311.more-trees.org/
※一口500円〜。
※PayPalへの登録およびクレジットカードが必要。
［問い合わせ先］
life311@more-trees.org



介くしくも1年前から、木造仮設住宅の構想していた住田町。震災後3日で仮設住宅建設に働き始めた。7月29〜31日には六本木ヒルズに1棟やってくる！

## 子ども未来研究所

### 感情表現するために、使う画用紙が求められる。

二次避難所の福島県石川郡母畑温泉で、毎週末開催されているアートセラピーでは、心の安定を目的としてアート表現活動を続けている。粘土遊びや絵を描き、怖かった体験やひそかに抱えている不安など、言葉で表現しきれない感情を体から発散することで、気持ちがようやく安定してきた。また、みんなで一緒に集まることだけでも安心感を覚える効果もある。子供たちの笑顔を取り戻すため、表現のための道具を送ろう。

介楽しみながらつながりの大切さを味わえる合同画。

［活動場所］
福島県小野町、宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市
［必要とされている物資］
現在、画用紙や折り紙を募集中。ただし、求められる物は日々変化するので事前にHPをチェック。
http://www.cof.or.jp/
［問い合わせ先］
tel:03-3779-1236

本大震災支援カットボランティア」NPO全国福祉理美容師養成協会（ふくりび）主催で全国から理美容師を派遣中。詳細は、http://fukuribi.exblog.jpをチェック！

はポパイのHPから即アクセスできます！

2011.7.7
POPEYE
8月号

VOL.2

# 3.11 東日本大震災から4か月…
# いま、僕たちにできること。

120日が経過してもなお、厳しい状況が続く東北地方。まだまだ“復興”に取り組めない被災地を僕たちが応援する方法はいろいろある。自分なりのアプローチでこれからもずっと支援をしていきたい。

Photo: JEN(JENでの清掃活動), JVC(南相馬市でのラジオ支援)　Text: Mako Matsuoka

# いま、いちばん人手が足りないのは清掃活動です。

津波によってめちゃくちゃに破壊された街はいまだがれきの山のまま。
遅い夏がやってくる前に少しでも環境を整えることが急がれている。力仕事の人手がもっと必要だ。

## 特定非営利活動法人
## JEN

### 現地集合＆現地解散で汚泥除去やがれき撤去。

世界各地で紛争や自然災害などにより厳しい状況にある人々へ支援活動を行っている国際協力NGO「JEN」。3月13日に仙台に入って、炊き出しや物資配布を行った。そのあと、石巻に拠点を移し、渡波地区にはボランティア宿泊施設を構えて4月から汚泥除去やがれき撤去などの清掃活動に携わる。とはいえ、現地では家具の持ち出しも行ったりと臨機応変な対応をしなくてはいけない。現在、ボランティアは7月末まで募集中（8月は未定）。

［活動拠点］
宮城県石巻市
［参加の条件］
・現地集合・現地解散
・寝袋持参のうえ宿泊所での共同生活ができる人
・寝袋、滞在中の自分の食料品と飲料水、作業着、装備を持参できること
・ボランティア保険に加入すること（申し込み完了後JENにて加入手続きを行う）
［持ち物］
寝袋、ロングスリーブ＆長ズボン、防寒着、長靴（安全靴）、飲料水＆食料、マスク、帽子、ゴーグル、着替え、下着、タオル（汗拭き用、バスタオル）、洗面用具、銀シート、レインコート、常備薬、保険証のコピー、懐中電灯、梅干しなど
［申し込み方法］
ウェブサイト（http://www.jen-npo.org/）より「参加申し込み用紙」をダウンロードし、必要事項を記入のうえFAX:03-5225-9357またはメール :volunteer@jen-npo.orgで送る。
［問い合わせ先］
tel:03-5225-9352





介暑くなってきたいま、悪臭や感染症の問題も発生している。

## ap bank

### 現地のさまざまな要望にきめ細かく対応する。

自然エネルギーに対する取り組みや「食」「農」の循環に取り組む「ap bank」。自分たちのできることで応援しようと、被災の数日後に現地入りして炊き出しを行った。国際NGO「ピースボート」と協力し、ボランティア派遣にも取り組んでいる。週末（3泊4日）から1週間と自分の予定に合わせて、参加できる。気温が上昇するにつれ、細菌や感染症、悪臭が蔓延することも予想される。そうなる前に少しでも汚泥を除去することが肝要だ。

［活動場所］
宮城県石巻市ほか
［条件］
・18歳以上の男女で、体力に自信のある人（20歳未満は保護者の同意を得た書面を提出）
・日本語でのコミュニケーションができる人
・テントでの生活ができる人
・交通費（往復：2500円）、食費、保険加入などに伴う費用を自己負担できる人
・各自治体の社会福祉協議会窓口にて事前にボランティア保険に加入できる人
・「災害復興支援ボランティア説明会」に参加できる人
［持ち物］
寝袋、テント、作業用ゴーグル、防水ヤッケ、手袋、長靴、防塵マスク、ヘッドライト、食糧と飲料水、保険証のコピーなど
［申し込み方法＆問い合わせ先］
http://www.apbank.jp/
※ボランティア派遣予定はマメにHPでチェックして。
※7月16〜18日に開催される『ap bank fes '11 Fund for Japan』の収益金は復興支援に充てられる。フェスで応援するのも、できることのひとつだ。

介側溝にたまったごみや汚泥を取り除くことで、用水を復活。現地ではいろんな役割が求められる。

## セカンドハーベスト・ジャパン

### ため込んだ保存食は、無駄にせずいますぐ現地へ。

企業でやむなく発生する規格外食品などを譲り受けて福祉施設などに配っている「セカンドハーベスト・ジャパン」は、震災2日後に現地まで物資を届けた。4か月過ぎても、食糧を求めて20km先まで出かける人は少なくない。復興への体力づくりをしている人々に、少しでも多くの食糧が必要とされている。食品の寄付は個人でも可。友達に声掛けして、台所で眠っている未開封で賞味期限内のものを集めることはすぐできることのひとつだ。

［必要とされている物資］
日々、刻々と変化しているのでまずはHPをチェック。
http://www.2hj.org/
［送り先］
〒111-0053
台東区浅草橋4-5-1 水田ビル1F 『セカンドハーベスト・ジャパン』事務所震災支援用物資係
［受付時間］
平日（月曜日〜金曜日）10:00〜16:00
［問い合わせ先］
tel:03-3838-3827
※物資は被災地だけでなく福祉施設などに届けられることも。

介震災直後は大量の食品が集まったが、4か月たって支援物資の寄付が大きく減ってしまった。

## まだ食糧と物資は不足していました。

遠く離れた僕たちは日常に戻れているかもしれない。
でも、現地ではまだまだいろいろなものが足りていない。
ちょっとしたものや、予想外のものが現地では歓迎されたりする。役立てるものは被災地に届けよう。

**ほかにもボランティア募集！**　『赤ちゃん一時避難プロジェクト』避難してきた赤ちゃんと一緒に遊んでくれる人を募集中。3日以上が条件。http://baby.wiez.net/